

視察REPORT等

**建設環境**

建設環境委員会視察報告

日程・視察先  
10月9日 富山県富山市  
10月10日 石川県金沢市  
報告者  
建設環境委員長 坂井 かずひこ

参加委員  
坂井 かずひこ、大竹 あつ子、後藤 ゆう子  
田村 ひろゆき、田代 伸之、山田 忠良  
酒井 こう一郎、小峰 和美、小林 たつや

富山県富山市

「コンパクトシティ」について

富山市では、まちづくりの理念を「鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることによる、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」とし、地域の拠点を「お団子」に、公共交通を「串」に見立てた「お団子と串」の都市機能を目指している。コンパクトなまちづくりを深化させるため「歩きたくなるまちづくり」を推進し、健康寿命の延伸やコミュニティの醸成、にぎわいの創出につなげていくようにしているところなど本市でも参考になる事例が多数あった。

「空き家対策」について

富山市では、平成29年に富山市空家等対策計画を策定した。市内には「都心地区」、「公共交通沿線居住推進地区」など、富山市の進める「コンパクトなまちづくり」に関連する地域のほか、中山間地域などさまざまな特性を有する地域が存在している。計画においては、それらの地域特性に応じ、適切な

対策を推進している。「街区公園コミュニティガーデン事業」について

富山市では、高齢者の外出機会や生きがいを創出するとともに、地域住民で収穫の喜びを分かち合うことで、地域コミュニティの再生を図るため、街区公園や市の施設、民有地などで実施するコミュニティガーデン事業を積極的に推進している。



石川県金沢市

「金沢方式の無電柱化の推進」について

金沢市では、街並みの特徴を生かして複合的に取り組む「金沢方式無電柱化事業」を推進している。裏通りは、極めて狭い路地で地中化方式による整備は困難だが、茶屋建築の建物が揃っていることから軒下配線を導入している。軒下配線の導入に当たっては住民参加によるワークショップを行い、理解を得ながら慎重に進めていた。

**議会運営**

議会運営委員会視察報告

日程・視察先  
7月22日 三重県四日市市  
7月23日 滋賀県彦根市  
報告者  
議会運営委員長 保谷 なおみ

参加委員 保谷 なおみ、藤岡 智明、かとう 涼子、藤田 美智子、浜中のりかた、酒井 こう一郎、小峰 和美、森 しんいち、佐藤 公男、委員外議員 田中のりあき、保谷 清子、中村 すぐる、後藤 ゆう子、納田 さおり

三重県四日市市

「議会改革の取り組み」について

四日市市議会は、積極的かつ継続的に議会改革に取り組み、毎年全国で5本の指に入る高評価を受けている。高い評価の理由を知ることが、視察の主な目的である。

議会運営全般について話を伺ったが、もっとも印象に残ったのは、議員同士が議論する場を独自に設定していることと、そこでの話し合いをもとに、議会基本条例の制定、議会報告会、議会モニター制度、通年議会、予算常任委員会・決算常任委員会の設置と、次々と議会改革を実行している点である。

議会改革だけでなく、議員提出議案を数多く提出。また、市長部局への提言、特別委員会の立ち上げも積極的に行っている。

四日市市議会では、議員一人一人の発意が議会としての発信にうまく連動しており、これが高評価を受ける原動力になっていると感じた。

「市民の生活、福祉に寄与することを議会がやるのが大事」との四日市市議会のスタンスについては、パフォーマンスに走る議会が

実際にあることから、しっかり肝に銘じておきたい。

滋賀県彦根市

「議会開放推進プロジェクトチーム」について

平成24年に彦根市議会が市民アンケートを実施したところ、「市議会に関心がない」、「市民との対話の場がない」、「議員の活動内容がわからない」、「議員の資質の向上を」というのが主な意見だった。

その反省から、広報広聴の3組織をつくった。議場開放促進委員会、広報委員会、広聴委員会である。

議会開放推進の一環として、子ども議会を行っている。また、広聴では、オープン体験参加型の議会報告会を大型商業施設のセンタープラザで防災をテーマに行い、110名もの参加があったとの説明があった。



議会運営委員会・議会報編集委員会 合同視察

日程・視察先 8月9日 東京都多摩市

報告者/議会運営委員長 保谷 なおみ 参加委員 8人、外委員外議員

報告者/議会報編集委員長 かとう 涼子 参加委員 5人、外委員外議員

「議会改革について」(チーム議会と市民・執行部との関係)

「これからは議員単体の議会活動ではなく、議員総体の議会活動が重要になる。そのためには、議員・事務局職員・市民が一体となった活動が必要だ」ということから、「チーム議会」ということが、最近よく言われる。

多摩市議会では、「議会活動の見える化」を図り、原則全ての会議の録画をYou Tubeで公開している。また、3つある常任委員会単位で、議会報告会を行い、市民との意見交換を行っている。さらに、決算と予算を連動させ、「チーム議会」として、市長部局と対峙するツールとしている。

毎年少しずつでも議会運営に改善を重ねる多摩市議会の姿は、大いに見習うべきと感じた。

「議会報の取り組みについて」

「市議会だより」のリニューアルに向け、議会報編集委員会では、取り組みの進む多摩市議会を視察した。

多摩市議会がまず着手したのは市民アンケート。「内容に魅力がない」、「存在すら知らない」との厳しい指摘を受け、手始めに題字デザインを市民公募で刷新、議会だよりの認知度アップにつなげたようだ。

新コーナー「市民と議会」では、議会が地域に出向いて取材を行い、写真入りの記事を作成。対話型の紙面づくりを目指している。

広報にも双方向性が求められる時代。市民意見を取り入れながら、広報紙の刷新に努めたい。

田無第二庁舎見学会

市議会では、令和元年12月9日に建設中の「田無第二庁舎」を見学しました。

見学後、企画総務委員会が開催され、田無第二庁舎建設について、質疑が行われました。



市議会ホームページ検討協議会を設置しました

市ホームページのリニューアルにあわせて、市議会ホームページに関する協議を行います。設置期間は令和元年11月29日から令和3年1月31日までです。

座長 佐藤 公男 副座長 中村 すぐる  
委員 後藤 ゆう子 田村 ひろゆき  
田代 伸之 佐藤 大介  
保谷 なおみ 納田 さおり



中川 清志  
小林 たつや